

3月11日に定期会員集会を終え、2017年度の新しい活動がスタートしました。今年度は新会長が選ばれ、新総幹事を迎え、新運営委員も加わり、まさに新しい体制でのスタートとなりました。そこで、新会長、新総幹事、運営委員に抱負と思いを書きいただきました。

会長 宮田 泰子



「一人ひとりが大切にされる社会ってどんな社会なの？」わたし自身、頭ではわかるような気がしますが、具体的に言葉で表そうと思うとなかなか難しいです。私たちはこの1年を通して、是非このことをそれぞれの活動の中で、具体的に話し、確認し、協働し、チャレンジし、1年を振り返った時、それぞれの言葉で歩みを語りあえるようなYWCAでありたいと願います。

神戸YWCAの活動の一つひとつは、私たちの思いから生み出される働きであり、そこでは多くの仲間が出会い、学び、夢を語り合い、大切な時を一緒に過ごす喜びがあります。

今年の標語聖句に「心一つにし思いをひとつにして、固く結びあいなさい。」(コリントの信徒への手紙一 1章 10節)が選ばれましたが、この聖句に後押しされながら心一つにし、思い一つにして、2017年のビジョンと活動目標を道しるべに神戸YWCAの働きを始めましょう。その働きが神と人々に喜ばれるものであるように祈りつつ。

総幹事 西本 玲子



YWCAは、産業革命下のイギリスで二人の人の出会いによって誕生しました。農村から出てきた女性たちのために寄宿舎をつくったメアリー・キナード。もうひとり、生活が大きく変化する中、神の前に静まる時をもとめ祈禱会を始めたエマ・ロバーツです。YWCAが、ひとつの課題

に別の個性と方策でアプローチする二人の女性の協働によって立ち上げられたことに、深い意味を感じます。

憲法、原発、地域、多文化共生など様々なテーマに取り組むメンバーの集合体が神戸YWCAです。それぞれが本気で「一人ひとりが大切にされる社会」を目指すなら、そこから何が創出されてくるか。わくわくドキドキします。

2017年度を始めるにあたり、あらためて「わたしたちはそれを1人ではしない」と宣言したいと思います。160年前のロンドンで、メアリーとエマが互いを「おもしろい!」と思い、尊敬して、協同というチャレンジに歩みだしたように、神戸YWCAも豊かな出会いと、尊敬と信頼、新しい出発が次々と起こる場であれたらと願います。

神戸 YWCA ビジョン 「一人ひとりが大切にされる社会」 2017年度活動目標 「共に社会を変える一歩を踏み出す」

梅澤 昌子

機関紙をメルマガで配信するなど、会員同士のつながるプロジェクトを立ち上げ実行し、YWCAの活動をもっと多くの人に知らせたい。YWCAがより良い団体になるためにできることをいつも考え、実行していきたい。

小川 佐由理

活動の中で、自分を大切にしなければ、他人を大切に出来ないと思う。まずは、自分を大切に、次に私のまわりにいる人、そして、これから出会う人を大切にしていきたい。

小野木 愛

今まで築き上げられた神戸YWCAをより良いものにする為に、今何が出来るか、先輩方と共に創っていききたいです。

掛橋智佳子

昨年度から暗中模索、紆余曲折、七顛八倒? フェスもいよいよ6月11日に開催です。多く人が出会い繋れるよう

な企画にしたいです。お力添えをお願いします。

東根順子

YWCAの温かく自由な雰囲気の中、会員の個性を尊重しつつ、他団体や会員外の人と共に、平和やいのちを大切に活動する活動を歩んでいきたい。

野村 春美

運営委員会で話し合われる課題は多く、すぐに答えが出るものばかりではない。その中で、今年度のビジョンにもあるように、一人ひとりを大切に活動する運営委員会であり、会員活動にしていきたいと思っている。

山本 かえ子

さまざまな社会的弱者の「ケア」に携わる人々が自らの働きについて考え、エンパワーメントできる機会を提供したい。女性の権利擁護、非戦、成年後見など、社会福祉活動や平和活動を支える取り組みをしたい。

TASTE THE WORLD

世界の料理を食べよう！

2月4日(土)、現在「ママの日本語クラス」に参加されている李安琪さんより台湾の客家文化について学んだ。通訳に杜蕙珊さん、参加者18人。

会の中で、客家人の概要を学んだ後、客家語ミニレッスンを受け、屏東の客家村を舞台とし、徴兵期間に故郷での任務を命じられた青年を主演として作られたビデオを鑑賞した。その中で多くの背景、文化、習慣を知ることができた。登場人物がアンチさんの知り合いであったり、

育った家のご近所が映し出され、非常に身近に感じられる映像であった。

勿論、李安琪さん手作りの客家料理も味わうことができた。7年塩漬けた高菜で作られた汁、豆腐を発酵させて作ったチーズ、特製の干しエビの入ったおこわ等、興味深いものばかりであった。港口茶という烏龍茶の一種でありながら緑茶のような味わいのお茶のデモンストレーションもあり、その後試飲、最後には、客家文化に関するクイズ、質疑応答



と盛りだくさんな会となった。

外国にルーツをもつ人たちが、さまざまな機会エンパワーされ、地域の人と交流でき、お互いを尊重し合う場にYWCAがなればと願っている。(国際相互支援部・松浦 裕子)

いま会いたい☆私らしく生きる女性たち



井上 保子さん

第3回は1月28日(土)、『自然エネルギーで作る豊かな暮らし』をテーマに、宝塚すみれ発電代表井上保子さんを迎え、第1号の手作り発電から次々と新しい形で自然エネルギーを生み出していく工程や仕組みなど興味深い話を聞いた。原発に頼らない暮らしを目指すバイタリティーあふれる女性だった。参加者22人。

最終回の第4回は2月18日(土)、「安保関連法に反対するママと有志の会@兵庫」の

羽田尚子さんを迎えた。『だれの子どももころさせない』に共感し、安保関連法廃止を求めて会を立ち上げた経緯や活動について話していただいた。ネットワークを大切にゆるやかに活動を続けている。参加者16人。

全回を通して「つながる」ことの大切さを改めて実感した。(伝明地 敦子)



羽田 尚子さん

第97回神戸YWCA定期会員集会

集会は寺沢京子さんの礼拝をもって、始まった。出席者34人。

終始和気あいあいとした雰囲気にも包まれ、「私たち会員が共に歩める神戸YWCAを目指した1年だった」との鶴崎会長の報告、疑問点がわかりやすく説明された会計報告など、会員自身が運営する会であることを改めて認識できる、よい集会になった。

午後からは「語り場～神戸Yあれこれ」と題して、話し合った。最初に今年度の会員活動を映像で振り返ったあと、「YWCAに関わって楽しかったこと」を振り返りつつ、自己紹介。人との出会い、学びがあった、活動にやりがいがあったこと等が共有された。次いで「これからYWCAが何かを変えようとしたら何ですか」をゴールに置いて、意見を出し合った。

YWCAの活動、ミッションを自分の地域につなぐための出前活動の実施、子育て中の母親のための交わりやサポート、「子どもの貧困」を理解するための学習会実施、また、青少年部を再び作りYWCAの考え方、活動を次世代へつなぐことなど、前向きなアイデアが次々と出た。今回のように、グループや部を超え、古くからの会員も新しい会員も共に話し合う機会をもっと持ちたい、との思いが強く感じられた。

最後に日本YWCAで企画された「YWCAファンを増やそう！動画プロジェクト」のダンス動画を見て爆笑しつつ、会はお開きとなった。

(斎藤 明子)



これは50年前の古い上筒井会館の庭です。お昼休みにくつろぐ職員たち。当時、建物は木造で英

のが懐かしい思い出です。

2001年、分室に移ってからもケーキグループを作り、8年後閉じましたが、今なお旧メンバーたちがバザーのケーキを製作しています。(笹本 宣子)

会話、オルガン、料理、英文タイプなどのクラスがあり。上階のホステルには外国人も宿泊。園遊会やシルバパーティー、楽しい催し物が多くありました。1988年に、新会館が建設され、専門学校のカフェテリアで手作りケーキを販売。ダークフルーツや結婚式用のケーキを夜遅くまで焼いた



世界祈禱日

3月3日(金)、日本基督教団神戸聖愛教会にて、世界祈禱日の礼拝が開かれた。

今年のテーマは「わたしはあなたに不当なことをしているか?」フィリピンからのメッセージ。まず、フィリピンの地理、歴史などが写真とともに紹介された。礼拝は、経済的な公正を求める3人の女性の声を聞くところから始まった。人的資源、物的資源は神が、すべての人に与えられたもので、力ある者が独り占めする世界に、「あなたに不当なことをしているか?」と神に問われ、考える礼拝であった。参加者153人(神戸YWCAからは11人)。

(キリスト教基盤部・野村 春美)

分室わいわいバザー

少し肌寒かったが好天に恵まれ、恒例の分室バザーが催された。ボランティアを含め約150人の参加があり、楽しい交流の時を過ごすことができた。多くの物品を寄贈くださった方々と準備期間中や当日のボランティアに心から感謝したい。(宮田 泰子)

2017年度

神戸YWCA 運営委員

梅澤昌子、小川佐由理、小野木愛、掛橋智佳子、野村春美、宮田泰子、山本かえ子

会長	宮田泰子
副会長	小川佐由理
	野村春美
書記	掛橋智佳子
	山本かえ子
会計	梅澤昌子

カー口ふくしまの サポーターになってください!



カー口ふくしまを会場に、福島市内で放射線量を測るワークショップに参加する神戸YWCAメンバー。福島訪問の際にはいつもカー口にお世話になっています。

神戸YWCA 被災者支援プロジェクト

カー口ふくしまは、日本YWCAが運営する福島の拠点です。開設されて4年以上がたちました。福島に生きる女性や若者たちの未来をつなぐ場でありたいと、語り場や保養や放射能に関する情報提供、心のケアや再生可能エネルギーの学びなどを行なっています。

そしてこのたび、カー口の運営を応援いただくカー口・サポーターズ制度ができました。ご支援は毎月500円から。案内チラシは本館2階事務所にて。(西本 玲子)

神戸YWCA 平和集会

これからは自分らしく生きていけなくなるかも?

—憲法24条とわたしたちとの関係—

YWCAのビジョンの中に「平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会」を目指すことが示されています。神戸YWCAでは、毎年「平和集会」が催され、その時期に捉えるべき社会問題を共に考え、語り合う場を会員・会員外の方に提供してきました。

昨年秋「結婚って!?!」と題して語り合う会をもちました。そこで「法律婚でなくても事実婚でいいのでは?」、「精神の自由をもつことは大切」、「結婚とは異文化理解である」など、様々な興味深い意見が出ました。また、自民党の改憲案(24条)のことも話題のようになりました。

改憲案には「家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として、尊重される。家族は、互いに助け合わなければならない」とあります。

「家族が基礎単位になれば、個人は尊重されないのでは?」「家族の助け合いが義務化されたら、内心の自由が奪われるのでは?」などの疑問が湧いてきました。

そこで、今年度の平和集会では、佛教大学で教鞭を取っておられ、憲法学、ジェンダー法学がご専門の若尾典子さんにお話していただき、皆で話し合う時間ももちたいと考えています。

皆で本音を語り、学び合いませんか。自分らしく生き生きとした人生を送るために、ぜひご参加ください!

(平和活動部・寺沢 京子)

2017年5月20日(土)

14:00~16:00

講師:若尾 典子さん(佛教大学教授)
会場:神戸YWCA本館5階チャペル



国際相互支援部で多文化共生や難民問題をテーマにしたイベントを企画し、夜回り準備会の運転手として野宿者を訪問し、行政の困窮者支援制度について学ぶ。被災者支援グループのメンバーとして福島にも足を運んだ。しかし、最近では、こういうYWCAらしい個々の活動というよりもむしろ、会員活動全体の運営に関わることのほうが多くなっている。

昨年4月から神戸YWCAの運営委員、さらに11月には日本YWCAの運営委員に選任された。組織のあり方、ユースの育成、広報、ファンディング。山積みの課題について、神戸で、東京で話し合い実行する。委員会がないときも常に頭のどこかで組織のイシューを考えている状態だ。

国際支援機関で働いていることもあり、もともとは海外への人道支援をやりたかった。しかし、3年前に神戸YWCAに移ってからは、運営も含めて、自分の住んでいる地域のための活動に関われるのがうれしい。面映ゆいが、YWCAに参加したおかげで「地球規模で考え地域で行動する」が、なんとなく実践できている。こんなYWCAとの「付き合い方」を、わたしはますます気に入っている。

(梅澤 昌子)

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA 本館：神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201
神戸YWCA 分室：神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

●ちゃいやあらんど 分室

「みんなで子育てを楽しもう！」
がコンセプト。ママと子どもたち
(0歳～幼稚園前)のグループ。
4月5日(水)・19日(水) 11時～15時
参加費 100円(1回)

●地域のお店くるくる 分室

リサイクルファッションのお店
毎月第3木曜日オープン！
4月20日(木)・5月18日(木)
13時～15時30分

●カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
4月8日(土) 10時～15時
参加費 300円
*昼食はカレーを作って食べます。
(要予約、別途食材料代が必要)

●中国医療気功(学院文化教養コース) 本館

4月11日(火)～9月12日(火)(前期)
14時～15時30分
受講料 9,828円(税込)

会費納入の ご案内

2017年度(2017年4月
～2018年3月)会費・会
友費のお支払いをお願いい
たします。
2016年度の会費が未納の方
は、併せてお納めください。

*特別な事情により会費の
支払いが困難な場合は、「年
会費減額制度」があります
ので、事務局にご相談くだ
さい。

会。財務規程案及び処務規程案
承認。春のランチンについて
協議。他。3月27日(水)第
7回理事会。2017年度事業計
画案及び予算案承認。他。

(総幹事・寺内 真子)

■ 賛助員

篠原 悦子 (敬称略)

■ 職員異動

総幹事 西本玲子
まごの手所長 寺内真子
神戸YWCA 学院長 西本玲子

■ 編集後記

世界も日本も息苦しい社会。
それだけ「一人ひとりが大切
にされる社会」というビジョ
ンを生かせる。新しい年度の
活動を望みます。(S・T)



今日は
いつもとちがう
わたし。

2017.6.11 (日)

人と地球にやさしいファッションを。
エシカルファッションフェスティバル
@神戸YWCA本館

■ 学院だより

日本語コースは神戸市中央
区社会福祉協議会から「平成
28年度中央区地域福祉ネット
ワーク事業助成金」の交付を
受け、日本に来たばかりで日
本語のコミュニケーションが
不十分な神戸市中央区在住の
6～18歳の子ども日本語初
期指導を実施。短期間で効果
的に「学習言語」を身に付け
るため、プロの日本語講師に
よる45分×10回(延長5回)
の日本語支援を行う。今まで
4か月間で4人の支援が実現
した。(原田 雅子)

■ まごの手だより

認知症になっても、本人の
意思が尊重され、できる限り
住み慣れた地域のよい環境で
暮らし続けられるように、神
戸市では、サポーター養成、
地域での見守り支え合い活動、
認知症カフェ、介護予防事業
を推進している。

2月22日(水)、寒空の中、
三宮あんしんすこやかセン
ターが中心になって、二宮地
域で認知症高齢者SOS声か
け訓練が実施され参加した。

まごの手も、ほっとヘルパー
(認知症の人の見守り)を派遣
している。認知症の人にやさ
しいまちづくりができたらと
思う。(所長・松田 恵美子)

■ 分室だより

わいわいランチの容器が一
新します！新しい容器は軽く、
電子レンジにも対応。利用後
もリサイクル可能で、作業所
の仕事づくりに貢献します。
そのため料金は50円アップ
の650円。ぜひ引き続き、わ
いわいランチをご利用くださ
い！お問い合わせは分室へ。
(西本 玲子)

■ 保育園だより

2017年、園児6人で始ま
った保育園。少ない人数ではあり
ましたが、1年でいろいろな体
験をしました。お弁当遠足、感
謝祭のスープづくりなど2017
年度も「心を動かす体験」を大
人と子どもも一緒に楽しんで
みたいと思います。
(園長・梅川 玲子)

■ 運営委員会報告

(2月)【報告】▶定期会員集
①指名委員会/推薦委員確定

②標語聖句候補3つ決定▶第1
回日本YWCA運営委員会【議
事】▶第96回定期会員集会議
事録、活動報告(運営委員会
部分)承認▶2017年度活動
計画案検討①ファンドレイジ
ング実行委員会②100周年記
念事業準備委員会③ファンド
レイジング委員会▶2016年
度決算・2017年度予算案およ
び組織図検討▶定期会員集
役割担当 (書記・野村 春美)

■ 理事会報告

2月4日(水)第6回理事

神戸YWCA・YMCA イースター早天礼拝

メッセージ「死を超えて」

榮 巖 伝道師(日本基督教団 神戸栄光教会)

イースター早天礼拝は、1922年4月に諏訪山金星台でもた
れた復活節早朝讃美礼拝にはじまり、今日まで守られてきた
もので、今回で95回目を迎えます。

日時 4月16日(日) 7:00～8:00

場所 神戸東遊園地(神戸市役所南側)

*雨天の場合は神戸YMCA三宮会館チャペルにて
(中央区加納町2-7-11)当日6時15分に決定しま
すので、下記電話番号へお問い合わせください

電話 078-241-7201(神戸YMCA)

礼拝後に、あたたかい飲み物を飲みながら歓談のひと時が
ございます。(イースターエッグもお持ち帰りいただけます)





ゴーフル®

いいものは
時代をこえて
生き続けます

神戸且月堂

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭

代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みく に

0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

尼崎市潮江4丁目2-2
URL: <http://sanosousai.com>